提案により施工しようとする場合で、ＶＥ提案が不採用となった場合において、標準案に基づいて施工する意思がある場合には、ＶＥ提案に基づき施工する場合の入札書と標準案に基づき施工する場合の入札書の両方）を封書により提出する。（入札書を２種類提出する場合には、別々の封書により提出すること。）その後、技術提案書の技術評価点が50点以上の者を選定し、選定された者の入札書の開札を行い、中日本高速道路株式会社契約規則第18条における契約制限価格（以下「契約制限価格」という。）の範囲内の入札額で最も総合評価点が高い者を落札者とする方式である。

技術提案書に記載する内容の要件及び施工計画提案書の評価に関する具体的基準については、入札説明書による。ＶＥ提案により施工しようとする場合は、ＶＥ提案に基づく施工計画提案資料を提出すること。なお、ＶＥ提案が不採用となった場合において、標準案に基づいて施工する意思がある場合には、標準案に基づく施工計画提案資料も併せて提出すること。ＶＥ提案がなく、標準案に基づいて施工しようとする場合には、標準案に基づく施工計画提案資料を提出すること。

⑵　技術提案書に関する事項

１）ＶＥ提案は、工事目的物の変更を伴う提案、プレキャスト製品の採用など契約単価項目で支払うことができない変更提案も可能とする。

２）ＶＥ提案の対象でない項目及び標準案に基づく施工計画提案資料については、施工方法及び仮設備計画に関する変更提案は可能とするが、工事目的物の変更を伴う提案やプレキャスト製品の採用など契約単価項目で支払うことができない変更提案は不適格とする。

⑶　技術提案書の記載に関する事項

１）ＶＥ提案について

①　ＶＥ提案を求める範囲は、鋼床版の耐疲労性向上に資する内容に限る。それ以外の提案があった場合は、ＶＥ提案全体を認めないものとする。ＶＥ提案について採否を判定する際の不採用案の例としては、下記の事例を想定している。

・下部工に影響が生じる提案（デッキ厚を変更するなど）

②　ＶＥ提案は以下の事項に従い、文字サイズ10ポイント以上で簡素かつ要領よく記述するものとする。なお、以下の事項に１つでも反する場合は不採用とする。

・Ａ４サイズ１ページ以内に収めるものとする。なお、これとは別にＡ４サイズ３枚程度の説明用の図表を添付してもよい。
・１ページに記載できる行数は、最大42行とする。（表形式で表現する場合の行数も含む。）
・１行あたりに記載できる文字数は、最大48文字とする。（表形式で表現する場合の文字数も含む。）

２）施工計画提案資料について

①　ＶＥ提案の対象でない項目及び標準案に基づく施工計画提案資料については、入札価格の範囲内で無理なく実現できることが前提であり、過度なコスト負担を要する「過度な施工計画提案」と発注者が判断した場合には、不適格とする場合がある。本工事における「過度な施工計画提案」の例としては、下記の事例を想定している。

・施工計画提案の実施において第三者との協議が必要な提案
・コンクリートの配合の変更及び混和剤の添加等が伴う材料の変更についての提案
・コンクリート表面保護工として含浸材などを塗布する提案
・ＰＣ鋼材や鉄筋・クラック防止シート等を追加配置する提案
・エポキシ鉄筋やステンレス筋などに変更する提案
・交通保安要員を追加配置する提案
・板厚の変更
・使用する鋼材（母材）を変更する提案

②　施工計画提案は以下の事項に留意し、文字サイズ10ポイント以上で簡素かつ要領よく記述するものとする。

・下記⑷に記載する評価項目①～④に対する施工計画提案数は、それぞれ最大３提案までとする。
・評価項目毎にＡ４サイズ１ページ以内に収めるものする。なお、様式に従い施工計画提案の説明用資料を添付できる。
・１ページに記載できる行数は、最大42行とする。
・１つの施工計画提案の内容に関し記載できる行数は、最大２行とする。
・１行あたりに記載できる文字数は、最大48文字とする。（表形式で表現する場合の文字数も含む。）

③　以下の場合は、該当する評価項目に関する全ての施工計画提案を「可」と評価する。

・施工計画提案数が３提案を超える場合
・１つの評価項目が１ページを超える場合
・１ページあたり記載する行数が42行を超える場合

④　以下の場合は、該当する施工計画提案を「可」と評価する。

・１つの施工計画提案の内容が２行を超える場合
・１行あたり48文字を超える場合

⑤　以下の場合は、該当する施工計画提案を減点の対象とする場合がある。

・施工計画提案の内容に目的、実施する内容又は施工箇所が具体的に記載されていない場合

⑷　施工計画提案の評価項目及び評価指標　評価項目及び評価指標は下記のとおりとし、各評価項目に対する施工計画提案の有効性について、評価指標をもとに相対的に評価する。

１）評価項目

施工体制及び管理手法

①　本工事を適正（工程、安全、品質）に実施するための工場及び現場の施工体制及び管理手法（②～④に関する提案は除くものとする。）

品質管理

②　鋼床版の耐疲労性向上に資する対策
ＶＥ提案が採用された場合は、ＶＥ提案を考慮した内容で評価する。

③　プレキャストＰＣ床版の仕上がり高さの精度向上（間詰部の出来形精度向上策を含む。）なお、プレキャストＰＣ床版の品質向上に資する技術提案は評価しない。

安全管理

④　高所作業者に対する更なる安全対策

２）評価指標　共通仕様書、施工管理要領及び設計図書に示す標準案と比較して、下記のとおり評価する。

優　標準案に比べ、非常に優れているもの
良上　良に比べ、やや優れているもの
良　標準案に比べ、優れているもの
良下　標準案に比べ、やや優れているもの
可　標準案又は標準案と同等であるもの
不適格

・一般的事項の基準を満たしていない内容のもの
※一般的事項とは、設計図書、共通仕様書、施工管理要領等の記載事項をいう。
・過渡なコスト負担を要する「過渡な施工計画提案」と発注者が判断したもの

⑸　技術評価点の付与方法　評価項目の項目別配点は、評価指標により優／良上／良／良下／可／不適格を判定し、判定結果に応じ次のとおり付与する。

施工体制及び管理手法

①　本工事を適正（工程、安全、品質）に実施するための工場及び現場の施工体制及び管理手法（②～④に関する提案は除くものとする。）

・技術評価点（20点満点）　優20点・良上15点・良10点・良下５点・可０点・不適格

品質管理

②　鋼床版の耐疲労性向上に資する対策

ＶＥ提案無し

・技術評価点（30点満点）優30点・良上22.5点・良15点・良下7.5点・可０点・不適格

ＶＥ提案有り

・技術評価点（36点満点）優36点・良上27点・良18点・良下９点・可０点・不適格

③　プレキャストPC床版の仕上がり高さの精度向上

・技術評価点（20点満点）優20点・良上15点・良10点・良下５点・可０点・不適格

安全管理

④　高所作業者に対する更なる安全対策

・技術評価点（30点満点）優30点・良上22.5点・良15点・良下7.5点・可０点・不適格